

インフルエンザ週報 2019年 第6週 (2月4日～2月10日)

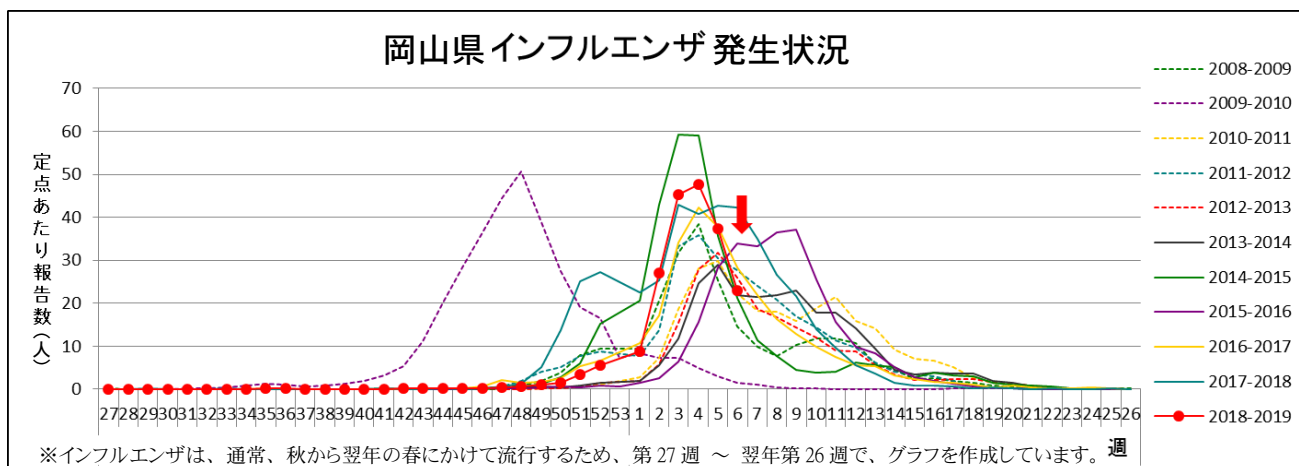
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 1,934 名（定点あたり 23.02 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 82 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 14 名の報告がありました。

【第7週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 17 施設でありました（2月11日～13日）。



インフルエンザは、県全体で 1,934 名（定点あたり 37.32 → 23.02 人）の報告があり、2 週連続で減少しましたが、依然として多くの患者が報告されています。岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中であり、広く注意を呼びかけています。地域別では、真庭地域（41.00 人）、倉敷市（31.50 人）、備前地域（23.53 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。すべての地域で報告数の減少が見られましたが、県内全域での流行は継続しています。学校等の臨時休業は、前週（147 施設）より減少し、第6週は 82 施設から報告がありました。しかしながら、第7週（2/11～）速報でも、すでに臨時休業をしている施設がありますので、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校などを中心とした集団の中での感染に注意してください。

今年は、2 種類の A 型が同時流行していることから、インフルエンザに複数回患する可能性もあります。

今後とも県内の発生状況に注意するとともに、『帰宅後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避ける』、『マスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど、咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザの流行が継続しています。

いっそうの感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- ・ 帰宅後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 人混みに入る場合は、マスクを着用しましょう。特に高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- ・ 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度（50～60%）を保ちましょう。

【 かかったかな？ という時には 】

- ・ 早めに医療機関を受診しましょう（受診時はマスクを着用してください）。
- ・ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないようにしましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように、『[咳エチケット](#)』を心がけましょう。
- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,934		備 中	患者数	201	
	定点あたり	23.02			定点あたり	16.75	
岡山市	患者数	510		備 北	患者数	69	
	定点あたり	23.18			定点あたり	11.50	
倉敷市	患者数	504		真 庭	患者数	123	
	定点あたり	31.50			定点あたり	41.00	
備 前	患者数	353		美 作	患者数	174	
	定点あたり	23.53			定点あたり	17.40	

【記号の説明】 前週からの推移



：大幅な増加



：増加



：ほぼ増減なし



：大幅な減少



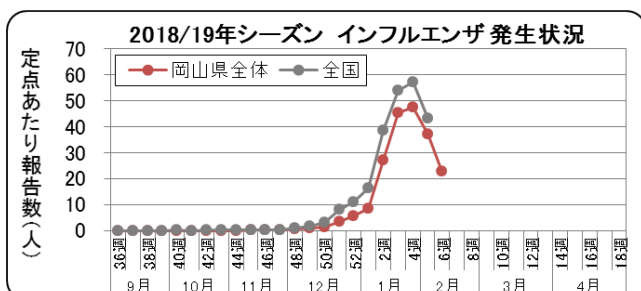
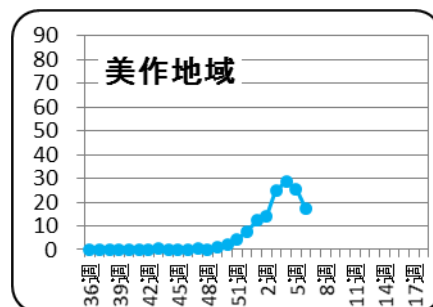
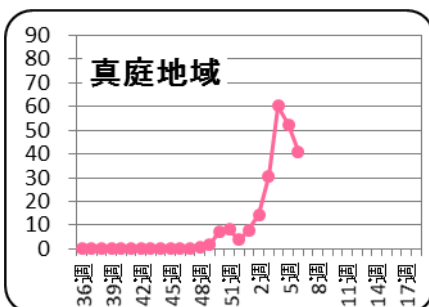
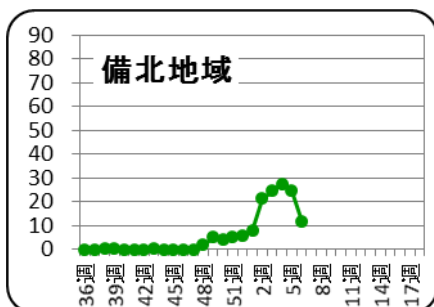
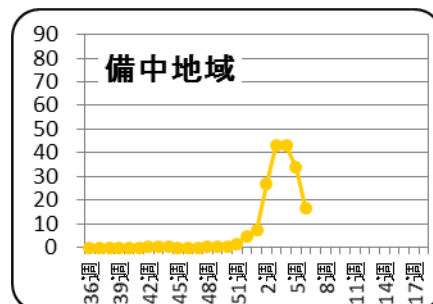
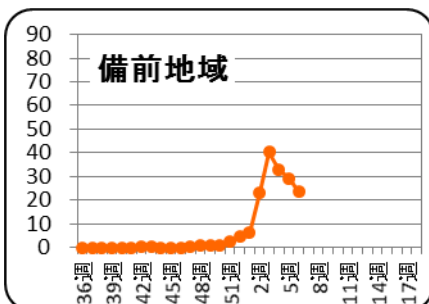
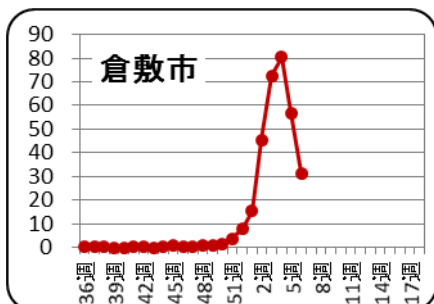
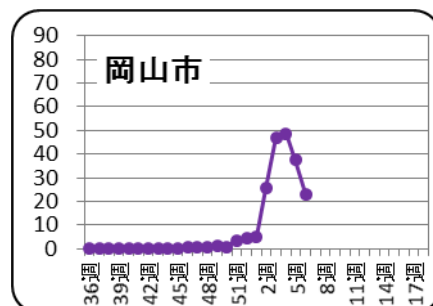
：減少

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0



全国集計 2019 年第 5 週（1 / 28～2 / 3）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 43.24 人となり、前週（57.09 人）から減少しました。都道府県別では、埼玉県（65.68 人）、新潟県（62.51 人）、宮城県（58.77 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県で前週の報告数より減少がみられました。

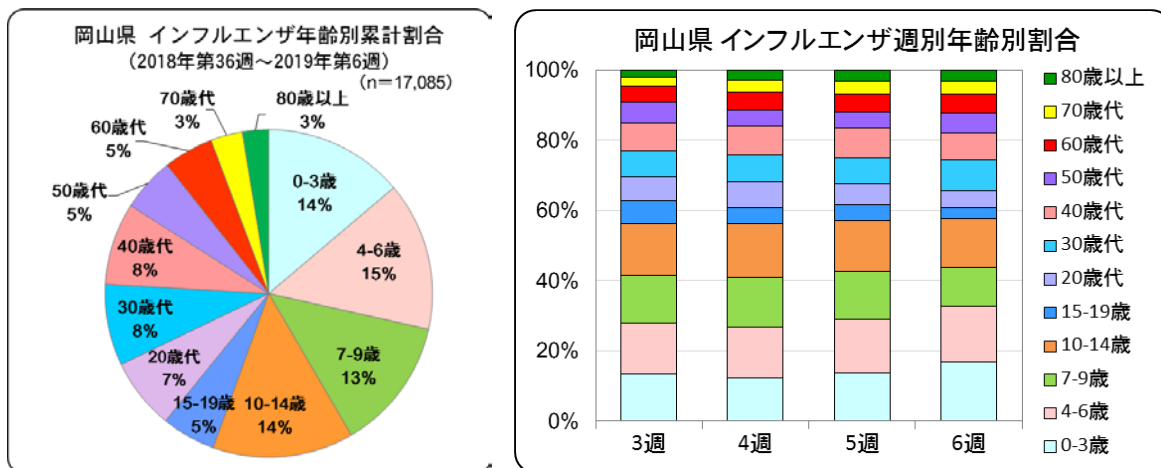
[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

大幅：前週比 100%以上の増減

増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

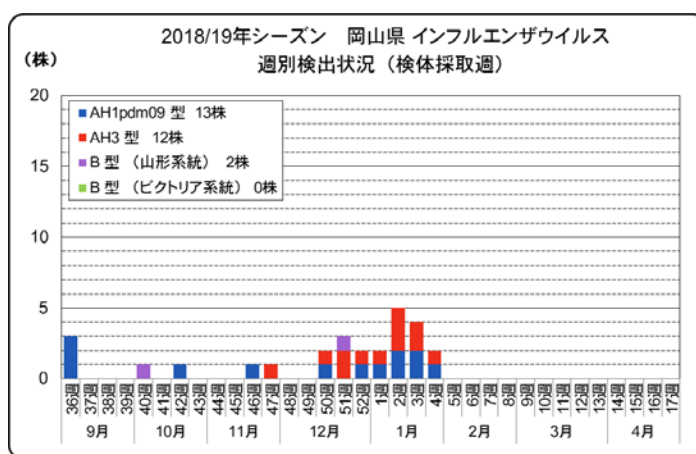
2. 年齢別発生状況

0歳から14歳までで約半数（56%）を占めていますが、広い年齢層で報告されています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

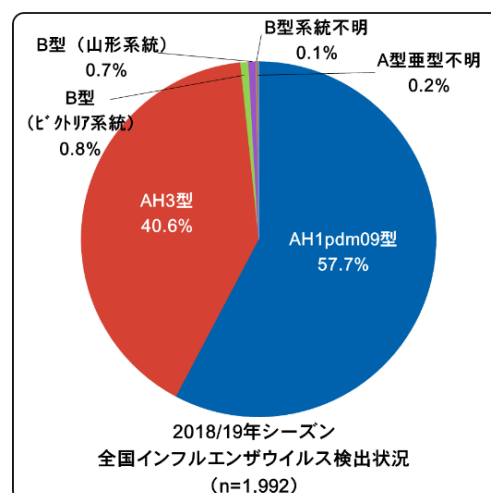
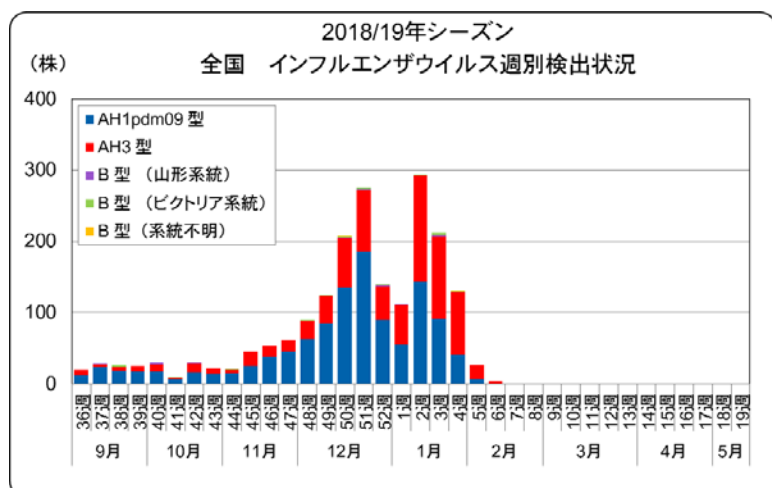
2019年第6週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、3株（詳細は下表参照）でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは27株で、その内訳は、AH1pdm09型13株、AH3型12株、B型（山形系統）2株となっています。



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第4週(1/21～1/27)	2019/1/22	倉敷市	60代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2019年第4週(1/21～1/27)	2019/1/21	倉敷市	60代	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2019年第3週(1/14～1/20)	2019/1/17	倉敷市	小学生	女	

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が1,150株、AH3型が809株、B型が30株（山形系統13株・ビクトリア系統15株・系統不明2株）、A型亜型不明3株となっています（2月12日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)

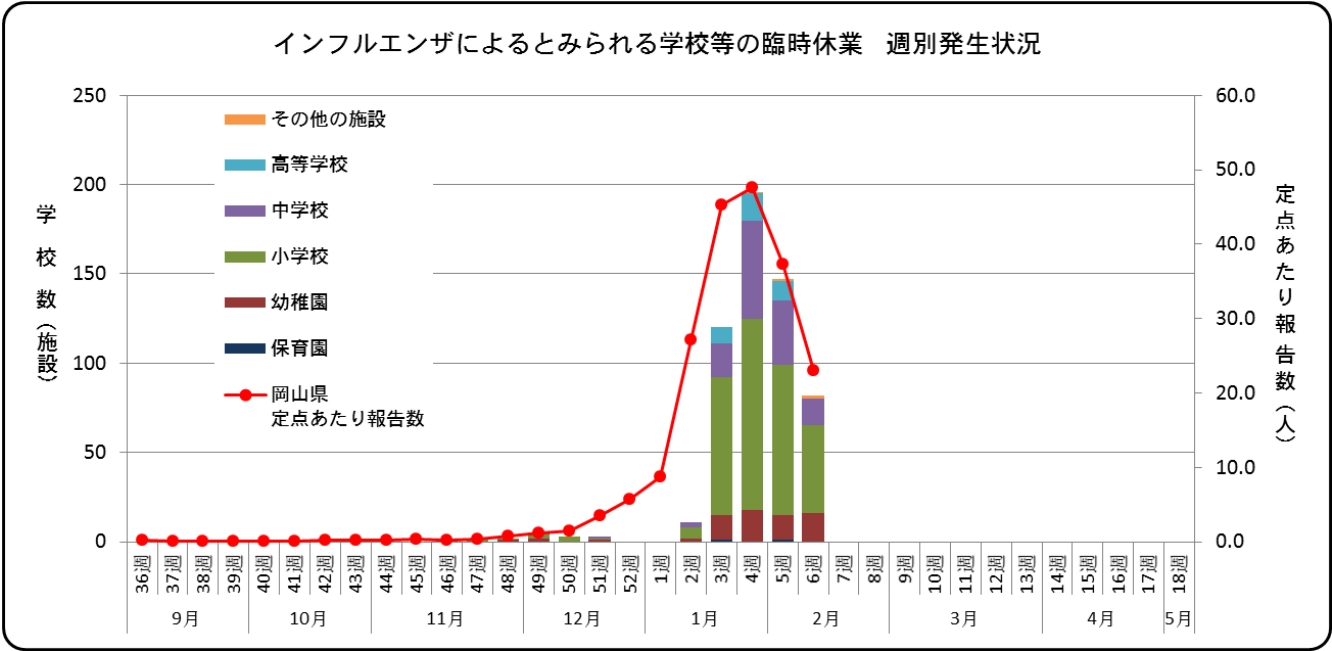


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、82 施設でありました。

【第6週 臨時休業施設数】

▽岡山市	31	▽倉敷市	13	▽津山市	2	▽玉野市	5	▽笠岡市	2
▽井原市	5	▽総社市	2	▽新見市	2	▽備前市	5	▽赤磐市	1
▽真庭市	5	▽美作市	3	▽浅口市	2	▽早島町	1	▽鏡野町	1
▽奈義町	1	▽美咲町	1						



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1054	8366	863	6766	82	574	3	9	20	129	59	436	H30.9.26
岡山市	399	3689	316	2932	31	235	—	—	2	19	29	216	H30.9.26
倉敷市	161	1854	145	1603	13	124	0	1	2	20	11	103	H30.11.12
備前地域	109	667	94	564	11	54	0	1	2	19	9	34	H31.1.10
備中地域	113	1074	91	887	12	90	0	1	5	34	7	55	H30.12.13
備北地域	24	126	20	83	2	11	1	1	1	8	0	2	H31.1.15
真庭地域	152	221	112	158	5	12	1	2	4	6	0	4	H31.1.17
美作地域	96	735	85	539	8	48	1	3	4	23	3	22	H30.12.6

2) 臨時休業施設数の内訳

第 6 週 : 82 施設

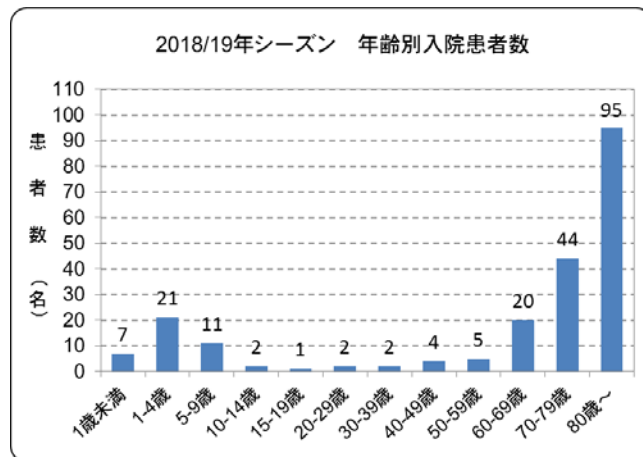
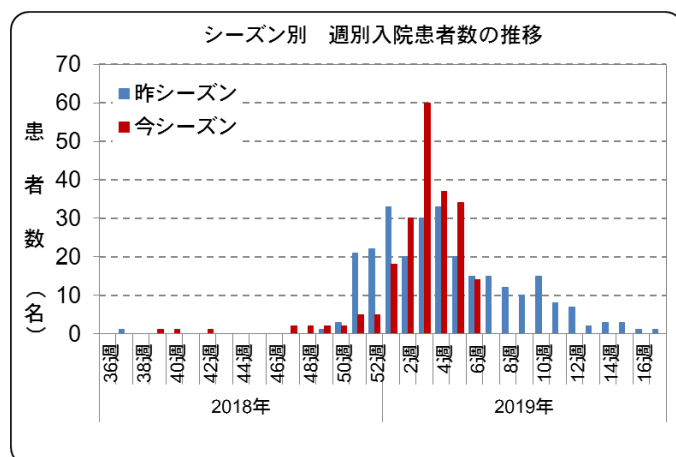
累計 : 574 施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	2	16	69	49	333	15	131	0	35	2	4

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、14 名（1 歳未満 1 名、1-4 歳 1 名、5-9 歳 2 名、40-49 歳 1 名、60-69 歳 2 名、70-79 歳 4 名、80 歳以上 3 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 6 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	1	1	2					1		2	4	3	14
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *			1									1	2
頭部 MRI 検査(予定含) *								1					1
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	1	1	1							2	4	2	11

* 重複あり

【2018 年 9 月 3 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳 未満	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80 歳以 上	計
入院患者数	7	21	11	2	1	2	2	4	5	20	44	95	214
ICU 入室 *		1						1		1	3	1	7
人工呼吸器の利用 *		2						1		1	1	6	11
頭部 CT 検査(予定含) *		2	1			1				3	3	5	15
頭部 MRI 検査(予定含) *		3	3	1	1			1			4	1	14
脳波検査（予定含）*													
いずれにも該当せず	7	16	7	1		1	2	2	5	16	37	84	178

* 重複あり

[インフルエンザ Q&A（厚生労働省）](#)

[平成 30 年度 今冬のインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）](#)

[インフルエンザ 関連情報 2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株（国立感染症研究所）](#)



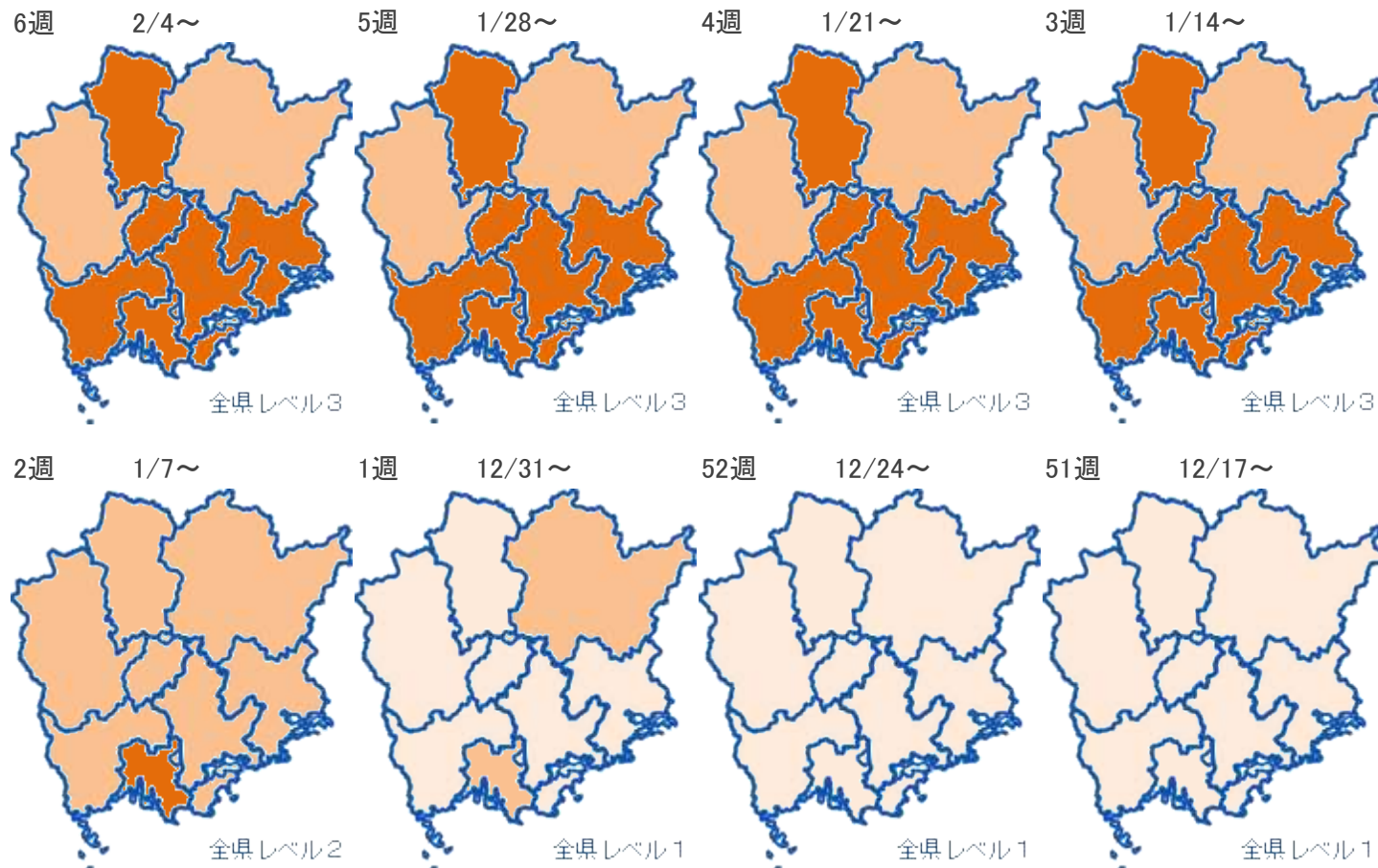
岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2019年 6週

2019年2月13日

11:56:33



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。